



比嘉 秀康 議員

山田区内村道多幸山線の陥没の修繕について

質 陥没している箇所は、以前にも修復が行われている箇所ですが徐々に陥没が進んでいるように感じている。原因の調査が必要ではないかと思う。今後、修繕を行っていくのか。

答 建設課長（當山 国博）

これまで簡易的な舗装により対応を行っていましたが、道路中央部に位置していることから、交通への支障が懸念される状況にあるので、昨年度に修繕を行った箇所も含め、再度の舗装を検討しています。現段階で、漏水による陥没ではないことは、現場確認で分かっているのですが、その他の原因があるのか、その辺も含めて注視しながら維持管理に努めていきたい。

山田区内の不法投棄について

質 護佐丸父祖の墓入り口付近に、不法投棄と思われるごみの山があり、歴史の道沿いでもあるので、訪れた人にとっても見苦しいですし、今後このようなことを起こさせない注意喚起の看板設置や、入口付近からこの場所に工事車両などが入れないように侵入防止のポールを設置し、対策等が取れないか。

答 村民課長（山城 達也）

どのような注意喚起等を行うか、社会教育課とも連携し、対応してまいります。また道の進入防止等に関しましては、その道を利用する方、道を管理する関係機関等がありますので、最適な方法で対処できるよう協議していきます。

河川閉塞について

質 博物館の前が河川閉塞している現状を把握しているか。

答 建設課長（當山 国博）

恩納村の河川閉塞に関する維持管理作業は、住宅地への浸水被害や緊急性、予算等を勘案して優先度の高い箇所

から順次実施しています。御指摘の箇所については、土砂の堆積や雑草の繁茂を確認していますので、早急な対応が必要かも知れ検討していきます。

質 また、そこは川が白く濁り、嫌な臭いがしている。水質検査や、どのような原因で起こっているのか、調査してほしい。

答 村民課長（山城 達也）

白く濁ったものが見えるので、今後どういった部分が悪いのか調査したいと考えています。河川の調査についても今年度できるのであれば実施していきたいと考えています。



▲白く濁った河川の状況

村内のセグロウリミバエの被害状況と対策について

質 村内の被害状況について、調査方法などについても併せて伺う。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

令和7年8月末時点で、定期果実調査によりセグロウリミバエの寄生確認が4か所、直売所への納品物からの寄生確認及びその周辺調査による寄生確認が4か所となっています。防除の内容としては3つあり、1つ目がウリ科を中心とした規制対象作物の移動制限、2つ目が消毒や廃棄の措置、3つ目が発生密度の低下を図るテックス板の設置が主な対策となっています。あと、県の取り組みとして、沖縄県では早期根絶に向けて不妊虫放飼を6月から本格的に実施しており、8月からヘリコプターを使用して大量放飼を行っています。幼虫の生産体制は週3百万匹で放飼作業は本島北部が中心になっていますが、10月以降は週2千4百万匹まで生産数を引上げ、恩納村を含めて県全域に放飼作業を行う予定と聞いています。

質 今後の根絶への見通しを伺う。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

ウリミバエは、昭和61年に不妊虫の放飼開始、平成2年の根絶確認まで4年間を要しています。セグロウリミバエの根絶の見通しについて、現時点で申し上げることは困難な状況にありますが、今後も状況の推移を注視しながら引き続き、生産者や関係機関と連携し、必要な対策に取り組んでいきたい。

していきます。

この協力体制があることを沖縄県に伝えています。

質 早期事業着手に向けた取り組み、要請行動をどう進めていくのか伺う。

答 建設課長（當山 国博）

沖縄県に対し、早期整備を求める強い要望を引き続き強く伝えていきます。

村道安全対策について

質 県道104号線と安富相交差点、村道入り口付近、安全対策について北部土木事務所と協議をしていくとありました。1年間の取り組みを伺う。

答 総務課長（宮平 寛）

道路に青い塗装をして、「おゆずりエリア」という標記の設置に向けて調整中です。まずは要望書を提出していただきたいということがありましたので、安富祖区とも調整し、早期に提出したいと考えています。

質 今後の安全対策について、考えを伺う。

答 総務課長（宮平 寛）

調整期間がかかるのであれば、今現在簡易的な看板ではありますけれども、対向線の看板の設置に向け調整



▲安富相交差点



▲県道104号線

喜瀬武原小中学校跡地利用の進捗について

質 6か月近く経過しています。現状を伺う。

答 企画課長（喜久山 隆）

令和8年4月の開校に向けて、校舎内の改修工事に向けた設計中というところで伺っています。



▲喜瀬武原小中学校跡地

質 地域住民への情報提供や説明会の開催について伺う。

答 企画課長（喜久山 隆）

今、設計中というところで、詳しくは固まっていませんので、設計の詳細が決まり次第、すぐ行っていきたいと考えています。

質 体育館・運動場の開放について喜瀬武原区と学校の調整や当局の関わりを伺う。

答 企画課長（喜久山 隆）

地域へ開放する条件で、プロポーザルの事業提案をいただいています。村としても、借用申出の方法について、学校法人タイケン学園と地域との間にしっかりと入って、調整のほうをしていきたいと考えています。